

主催：山田小学校区ふれあい協議会



電鉄跡地遊歩道

アートで山田校区の魅力を発信、黒埼まつりを灯の道で彩る

市民プロジェクトは、初の参加であり、手探り状態の取り組みだったが、アーティストと新大生のコーディネート、さらに西区の協力で、しっかりしたグランドデザインに基づき、想像以上の規模の作品が完成した。

流木アートワークショップ、オブジェ及び行灯製作体験やアーティストとの交流を通して、アートを身近に感じてもらった。また、一部周辺地域への広がりも見られ、地域連携の一助ともなった。テーマを焼鮎とすることや、茶豆の一部材料としての使用、さらに解説版の設置などにより焼鮎伝説や黒埼茶豆の周知が図られた。特に、ふるさと村にも流木アートとオブジェを設置させてもらうことにより、県内外の広域の来街者への情報発信が図られた。

7月14日(土)～10月8日(月・祝)の長期間の展示により、旧電鉄跡地・遊歩道のPRと利用者増加が図られたものと感じている。親鸞聖人の足跡や飛行場の存在、かつての信濃川の堤防位置など、地域の発展と歴史が掘り起こされ、地域への愛着を深めることができた。ワークショップ参加者は楽しそうに創造性を発揮し、作品制作に取り組んでいる姿が見られ、主催者としてもやりがいがあった。

参加者からは「昔からの風情が残っており、インバウンドの観光客に新しい体験を提供できる」「企業や保育所・学校などの参加体制は、地域の活性化の可能性が高いと考える」「アーティストの指導により意外な物を体験できた」など、今後の諸活動の参考になる意見をもらった。

- 6月18日(月)～7月14日(土) 全6回ワークショップ (善久公民館)
- 7月14日(土) まち歩き、点灯式 (にいがたふるさと村～アートの道)
- 7月14日(土)～10月8日(月・祝) 展示 (にいがたふるさと村、遊歩道)